

令和6年度第1回米子市国民健康保険運営協議会（概要）

○ 開催日時 令和7年1月29日（水） 午後1時30分～2時30分

○ 開催場所 米子市役所5階 議会第2会議室

○ 出席者

（1）米子市国民健康保険運営協議会委員

天野委員、足立融委員、小村委員、紅松委員、後藤委員、田本委員、手島委員、西井委員、
手島委員、久松委員、森田委員

（2）事務局

米子市保険年金課 日浦課長、安酸担当課長補佐、永野室長

米子市収納推進課 大野原課長、宇津宮課長補佐

（3）傍聴者

3人

○ 会議次第

1 開会（1:30）

【会議の成立】

委員総数15名中11名の出席であり、会議の定数に達しているため本会議は成立している。

2 会長あいさつ（1:32）

・本日は事業状況について、事務局の説明を受け、協議していただきたい。

・米子市の国民健康保険事業のよりよい運営のため積極的なご意見をお願いすると共に、スムーズな進行へのご協力をお願い申し上げる。

3 市長あいさつ（1:33）

・本市の国保運営の円滑な進行運営のためにご理解とご協力をいただいていることに感謝申し上げる。

・国保情勢は団塊の世代の後期高齢者への移行、医療機関の経営問題、保険料負担等大変厳しい課題を抱えている。今後も持続可能な保険財政での国保運営を目指していきたい。

【委員紹介】

【事務局紹介】

4 会議録署名委員の指名（1:37）

会長より、足立委員と西井委員が指名された。

5 協議・報告

（1）国民健康保険事業状況について（1:38）

・事務局より「国民健康保険事業総括表（資料1）」「被保険者状況（資料2）」「国民健康保険料収納状況（資料3）」「令和6年度国民健康保険事業特別会計決算見込（資料4）」について説明。

【質問・意見①】

資料 2 に国保の状況はあるが、後期高齢者医療の被保険者数はどれくらいか

【事務局】

24,114 人。

【質問・意見②】

資料 2 の医療費の伸びについて、その原因と年齢層について知りたい。

資料 3 の滞納繰越分が令和 4 年度以降圧縮できていない理由を教えてほしい。

【事務局】

医療費については後日回答する。

徴収率は、令和 4 年 26.7%、令和 5 年 30.7% と上昇している。収納推進課で国保の徴収を担当してから滞納処分滞納整理に力を入れている。市税の対応を併せて行っており、段階的に圧縮できるのではないかと考えている。

【質問・意見③】

医療費と予防事業との関連について教えてほしい。

【事務局】

国保保健事業として特定健診や特定保健指導、生活習慣病予防事業を実施している。今年は特定健診受診者が増加し、健康意識が高まっていることを実感しており医療費の抑制につながればと思っている。

(2) 令和 7 年度保険料等について (1:55)

・事務局より「県への納付金と令和 7 年度保険料を据え置いた場合のシミュレーション（資料 5）」について説明

【質問・意見①】

試算額は、被保険者数が減少すると見込んだものなのか。

【事務局】

被保険者数が減少することを見込んだ県のシステムから試算したもの。団塊世代の後期高齢者医療への移行や被用者保険の拡大が影響の要因と考えている。

【質問・意見②】

来年度から高額所得者の限度額が増額になる。それを踏まえた金額なのか。

【事務局】

令和 7 年度の制度改革を加味した試算となっている。

【質問・意見③】

保険料の据え置きが続いているが、今後他市や県の率に近づけるという計画はあるのか。

【事務局】

保険料の統一といった動きはあるが、現状では考えていない。

【会長】(2:01)

協議いただいた令和7年度保険料について、見直しは行わない、ということでよろしいか。

－意見なし－

では、令和7年度保険料等について可決とする。

(3) 基金積立について (2:02)

・事務局より「国民健康保険基金積立金への積立てについて（資料6）」について説明

【質問・意見①-1】

他市の基金の状況を教えてほしい。

【事務局】

鳥取市、境港市は繰越金は全額繰り越し、倉吉市は繰越額の2分の1を基金として積み立てると聞いている。

【質問・意見①-2】

米子市に基金が存在していた時期の最高額と状況について教えてほしい。

【事務局】

平成7年度の3億円の積み立てが最初で、それ以降利息を積み立てていた。最大では3億1千万弱であったが、赤字補填を続け現在に至る。

【質問・意見②-1】

基金を残していくということは理解できるが、黒字が続くのなら保険料を下げていかなければならないと思う。

【事務局】

基金を給付費の10%である9億円を目標金額として年次的に積立てたいと考えている。

【質問・意見②-2】

9億円という金額について詳しく教えてほしい。

【事務局】

以前は療養給付費の10%程度を積立てとして基金を行うという国の方針があった。本市としてはこの考えを基本に現在の療養給付費の10%相当を積立ての目標額に設定した。また、繰越金のうち2分の1相当を積み立てていくという地方財政上の規定もある。総合的に考え療養給付費の10%相当9億円を現時点での目標額としたい。

【会長】(2:14)

さまざまな背景のもと、黒字部分を積立基金としていきたい事務局の提案だが、基金積立の方針について承認するということでよろしいか。

－意義なし－

基金積立方針について、米子市国民健康保険運営協議会としては承認する。

(4) 令和7年度の制度改正について (2:15)

・事務局より「令和 7 年度の制度改正（予定）について（資料 7）」について説明

【質問・意見①】

高額療養費の自己負担引き上げについて説明のとおり進んでいくと考えてよいか。

【事務局】

そのとおり。

(5) 保険料水準の統一について (2 : 18)

・事務局より「保険料水準の統一について（資料 8）」について説明

【質問・意見①】

12 ページの表の見方について詳しく解説してほしい。

【事務局】

納付金ベースの統一について、医療費件数反映係数を段階的に引き下げ、令和 11 年度にその係数アルファーを 0 にするという県の計画がある。米子市は毎年約 800 万円ずつ納付金が減っていく推計となっている。13 ページには資料としてロードマップを添付している。

【質問・意見②】

令和 6 年度の医療費分納付金とは、資料 4 の歳出にある国民健康保険事業費納付金のことなのか。資料 4 について歳出と歳入を細分化した表記としてはどうか。

【事務局】

来年度改善する。

6 その他 (2:27)

なし

7 閉会 (2:30)

【会長】

皆さんのご協力をいただき、いろいろご意見をいただいた。意見が出尽くしたようなので、これをもって令和 6 年度第 1 回米子市国民健康保険運営協議会を閉会する。